

2012. 10. 5 (金)

教養講座 第7回

真理と正義

前回の復習.

「何か 不可能だ」と思っていること。

↓
その中には可能が内在している!

「何か」から「可能」を「不可能」と思い込んでいる。

思い違いや誤解が非常に多い!

哲学の究明とは、

「何か 真理 か」

↓
完全欠けた絶対的存在.

↑

不完全な存在である人間が知ることは難しい。

真理と正義の違いについて。

真理

... 完全無欠な絶対的存在。

truth.

正義

... 正しい、正しい道理。

justice

真理?
真理の一部?

全く違う!!

正義は二つと言って 真理ではない。
場合により、真理になりえる正義もある。



例えは

天文学

と

医学

宇宙の成り立ちなど
人間が行う学問だが
人間の存在を前提としない。
人間がいなくても成り立つ。

Full local

人間のための学問である。
したがって、人間がいなくては
成り立たない。

新人以外の人間の働き。

正義
Justice.

... 英米社会において、
裁判 という意味でも使う。

人が2人以上いると「正義」という
概念が必要となる。

人類学的見地から、
(根本のはなし)

4,000年以降の時代から、(紀元前2000年)

フランス革命、
アメリカ独立宣言
などの後に発展した
概念からの見地とは
違う。

正義 の概念が生まれた。
必要となった。

植民地が浅く local 色が強い概念。

裁判
とは、

不完全な存在者である人間が
共同の事の中で何か(善)で(悪)なもの、測りつゝのもの。

↑ ↓
小性格の違う概念

真理とは

localなものではなく、
地球の文明、文化など「超超越し、
絶え間なく続く完全無欠のもの。

そこから、いくら

正義を追求しても、それが

真理であるとは限らない!!

自然科学からの視点では、

場合により、
真理によりこそ正義もある。



人間社会において、

真理が正しいとは言えない。

社会科学
人文科学は手ごたえが、

1. 事実 → 2. 真実 → 3. 真理

それぞれの概念は全く違う!

— 広辞苑第五版より —

1. 事実

- ① 事の真実。真実の事柄。本当にあった事柄。
- ② (哲) 本来、神によってなされたことを意味し、時間・空間内に見出される実在的な出来事には存在。実在的なものであるから幻想、虚構、可能性と対立し、個別的・経験的なものであるから論理的必然性はなく、その反対を考えても矛盾しない。
- ③ (語法的に) [真と混同しない]

本当にあった事柄

2. 真実

本当のこと。

- ① うそ かわりて "正しい、本当のこと。まこと。
- ② (副詞的に) [真とうに。まことに。]
- ③ (仏) (反) "はたはた" こと。究極のもの。絶対の真理。

3. 真理

不変的なもの。

- ① (真とう) のこと。まことの道理。
- ② (哲) ⑦ 意味論論理的には、命題の表している事態がそのとおりに成立しているときに言われる。
例としては、「雪が白い」という命題が「真である」は事実、雪が白いとてである。

① 真理認識の方式には おおえそ 三つの立場がある。

・ 対応説 (correspondence theory) ... 観念 (認識の知性) と 実在との合致によって真が成立すると考へる

・ 整合説 (coherence theory) ... 当の観念が 整合的な観念体系の内部で 適合するとて 真が成立すると考へる。

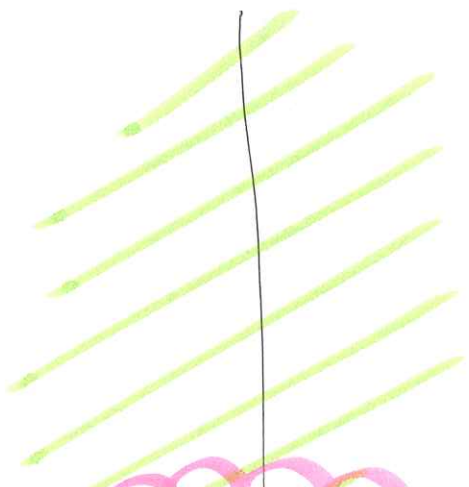
・ プラティマリズム ... 仮説が 事実において 検証されたときに 真が成立すると考へる。

現実の真理認識は、この三説において成り立っている。

⑦ 倫理的・宗教的に正しい生き方を 真理ということもある。

真理

正義



真理と正義
狭間で
discretion
すること!

思慮分別
熟考

自分自身の裁量で!!

和辻は、
地球に存在する一人の人間として、
なるべく妥当な裁量をするための
具与これに理性がある!

具与これにには
理由がある!

真理



正義

狭間

discretion あること
公平な、かつ二利のない人間となる。
バランス感覚に優れた思考を有する。

discretion

/diskrɛʃən/

- ① 1. 行動力(判断・選択)の自由
自由裁量
- 2. 思慮分別
慎重(さ)

敬虔な

ex) では、キリスト教信者は、
discretion できるのか?

ここで哲学あること。



幅広い学問において、

ニュートンで中立性下で学問を探究すること。

discretion ができる。